



霞ヶ関カンツリー倶楽部の三箴

- ・ 倶楽部の会員同志は一家族の如く親しみ合い、信じ合っていきたい。
- ・ 技術よりも、フェアプレーのゴルフ・スピリットを第一に発揚したい。
- ・ コースはどこでも我が座敷の如く心得たい。

The Three Axioms of Kasumigaseki C.C.

- ・ Members should treat one another as family.
- ・ Fair play transcends ability.
- ・ Treat the course as if it were your living room.

監訳：マーシャ・クラックワ
聖心女子大学名誉教授



霞ヶ関カンツリー倶楽部 概要

事業所名	一般社団法人 霞ヶ関カンツリー倶楽部
	所在地：〒350-1175 埼玉県川越市笠幡3398番地
	TEL：049-231-2181（代表） FAX：049-231-4528
	URL： https://www.kasumigasekicc.or.jp
開場日	1929年10月6日
アクセス	車：圏央道／圏央鶴ヶ島インターより約5km（約8分）
	電車：西武新宿線／狭山市駅より倶楽部バスで約15分
	JR川越線／笠幡駅より徒歩15分

ようこそ、
霞へ。

 Kasumigaseki Country Club

Photo : Koji Aoki / AFLO

日本の、世界の熱戦の舞台。

霞の歴史

川越笠幡の旧家の
当主、發智庄平氏の願
いと、藤田欽哉、赤星
四郎他「我らのゴル
フ倶楽部」を創ろう
とする人々の思いが

実を結び、1929年東コースが竣工。

西コースは会員の間から高まった第2コース建設の要望に応じて1932年に完成。わが国初の36ホールを持つカンツリー倶楽部となった。敗戦で米空軍に接収されたが、農地化などで荒れ果てたコースは接収中も復旧へ向けて作業が行われ、1954年に36ホールが再開。その3年後、東コースで開催されたカナダカップ（現ワールドカップ）は日本にゴルフブームをもたらした。



東京2020オリンピック 東10番 (2021)

公式競技でも戦前から数多の熱戦の舞台であり、1933年（東）、1956年（西）、1995年（東）、2006年（西）の日本オープン競技、1999年（東）の日本女子オープンの舞台となった。そして2021年夏、東京2020オリンピックにおいて、東コースは世界42か国から集まった男女各60名の選手によるゴルフ競技の熱戦の舞台となった。



開場式 1番ティー (1929)



チャールズ・アリソン氏来訪 (1930)
「赤星六郎 (左)、藤田欽哉 (右) と共に」



東10番 (1933)



第5回カナダカップ開催 (1957)

開かれた倶楽部

霞は、ゴルフ発展において、若年層育成を支援するために日本ジュニアゴルフ選手権競技に1971年から会場を提供してきた。多くの日本のトッププレイヤーが競い合った同競技は日本中のジュニアゴルファーの目標である。また地元川越市他各自治体の主催する健康体育文化事業のためにコースを開放し、ゴルフ人口の拡大やレベル向上に協力しているほか、近隣の地元中学校生徒の職場体験活動の受け入れも行っている。さらに児童養護施設の方々に霞の自然の中で遊戯や散策を楽しむレクリエーションの場として休業日に施設を開放している。



日本ジュニア選手権 表彰式

グッドフェローシップ

「グッドフェローシップ」の発揚が創立以来のモットーである。挨拶、倶楽部運営に対する協力と奉仕、会員は全て対等の友、敬老精神、周りへの気配り、ゴルフ・スピリットの発揮、プレーファスト、地元との共存共栄など、霞の全てが包含される。「三箴^{さんしん}」はそのグッドフェローシップ、「気持ちよき仲間」を表すものとして会員達の申し合わせから作られた。



レクリエーション

そして2029年創立100周年へ。

東コース

トーナメントティー 7,466Y / Par 71

東コースは2016年10月にトム&ローガン・ファジオ氏により改造されたダイナミックなコース。かつてのチャールズ・アリソン氏改造のクラシカルな印象を残しつつ、フェアウェイには適度なうねりが与えられ、傾斜のある大きなグリーンをガードする深く大きいバンカーが特徴であり、正確なアイアンショットが求められる。

左から：東10番/189Y/Par 3 東9番/521Y/Par 4 東1番/411Y/Par 4



写真左から：東16番/203Y/Par 3 東17番/343Y/Par 4 東18番/500Y/Par 4

西コース

フルバックティー 7,095Y / Par 73

西コースは井上誠一氏により設計され、川田太三氏が改造した優美なコースであるが、ティーショットからピンポイントで攻めることを余儀なくされるホールが多い。インに入ると、景観は一変して池やクリークを生かした優雅ともいえるたたずまい。だが、その優雅さは数々の罫をも秘めている。正確なショットが求められ、気の抜けないホールが続く。

西16番/164Y/Par 3



写真左から：西6番/554Y/Par 5 西11番/206Y/Par 3 西12番/400Y/Par 4